

平成30年度 美咲町立旭小学校 学校評価書

<table border="1"> <tr> <td>学校長</td> <td>光嶋 昭善</td> </tr> <tr> <td>学校関係者 評価委員</td> <td>山本 広文 石井 千栄子 飯田 純子 大西 洋子 武村 晃</td> </tr> </table>	学校長	光嶋 昭善	学校関係者 評価委員	山本 広文 石井 千栄子 飯田 純子 大西 洋子 武村 晃	<p>自己評価総合所見</p> <p>授業改善、家庭学習については、一定の成果が見られるが、結果としてはまだ十分ではない。あいさつや自己肯定感が高まっているが、自己有用感が高いとは言えない。教職員を含めた大人からの肯定的評価、指導的評価が望まれる。</p> <p>自己有用感・人間関係作りの土台となる、自己表現・自己表出の力が依然として不十分である。異質・少数も尊重する価値観、自己尊重の価値観を育てる指導を充実したい。</p> <p>基本的な生活習慣、家庭学習習慣の定着が望まれる。核となっているのがメディアコントロールの力であり、学校での知識と自己理解、必要感・実践意欲の指導とともに、保護者への啓発と、PTAとしての重点的取組など家庭と協働した取組をいっそう推進したい。</p>
学校長	光嶋 昭善				
学校関係者 評価委員	山本 広文 石井 千栄子 飯田 純子 大西 洋子 武村 晃				

自己評価 対基準値 S(101%以上) A(90%以上100%以下) B(80%以上90%未満) C(70%以上80%未満) D(70%未満)

評価領域	自己評価					学校関係者評価	
	評価項目	評価指標	評価基準	達成状況	評価	結果の分析及び改善方策等	自己評価に対する意見など
子どもが「わかる・できる・役立つ」喜びを実感できる学校づくり	「めあて・見通し」「ふりかえり」のある学習活動	めあてをつかんでいる学習している	肯定的評価90%	肯定的評価89.6%	A	児童は、めあてや見通しをもって学習に向かい、学習したことを振り返ることができており、主体的な学びに近づきつつある。しかし、「ふりかえり」が感想のレベルで留まっていることも多々ある。今後、到達目標として「めあて」を明示するとともに、理解内容や学び方、次なる目標・疑問など、「ふりかえり」の観点を明確化して、書かせたい。	「読み聞かせ」での振り返り活動にあっても、感情語での感想で終わっていることが多い。自分で描いた情景や登場人物に移入したらえ方などはできない。想像力・物語の世界に入り込むことの弱さを感じる。
		この時間はどんなことをするのか、どのようにするのか、かつかんで学習している	肯定的評価90%	肯定的評価87.0%	A		
		わかったこと・わかり方・気づきを書いている	肯定的評価90%	肯定的評価87.0%	A		
	「問い」「かく」「説明」を大切に学習活動	友達に自分の考えが伝わるように発表している	肯定的評価80%	肯定的評価83.1%	S	児童は相手を意識して話したり、聞いたりしていると意識しているが、実態は必ずしも十分ではない。一対一や班の中ではある程度できているが、学級全体では、声量が十分でなかったり、教師に聞いてもらって満足している状況もある。	
		聞いていることが話し手に伝わるように聞いている	肯定的評価80%	肯定的評価79.9%	A		
		ノートや教科書、ワークシートなどを見せ、指さしたりしながら説明している	肯定的評価80%	肯定的評価55.0%	D		
	家庭学習の充実につなぐ学習方略の指導	宿題をしている	肯定的評価90%	肯定的評価100%	S	児童は、家庭学習の仕方がわかり、宿題、自主学習共にしている意識している。休日の家庭学習時間が少ない。読書をしている児童は多いが、学年が上がるほど時間が少なくなる傾向がある。また、家庭学習の成果が理解や技能の習熟に必ずしも反映していない。	
		自主学習をしている(3年以上)	肯定的評価90%	肯定的評価96.2%	S		
		学校以外で、平日1日当たり20分以上読書をしている	肯定的評価70%	肯定的評価78.2%	S		
		宿題や自主学習のしかたがわかっている	肯定的評価80%	肯定的評価93.5%	S		
	豊かな語彙・語感、叙述力の向上	国語辞典を使って学習している(2年以上)	肯定的評価90%	肯定的評価65.1%	C	国語辞典の使用頻度は個人差が大きい。2学期以降、新聞記事を使った視写や意見作文文に取り組んでいるが、新聞に興味を持ち、目を通すには至っていない。読書はしているが、必ずしも好きというわけではない。	
		新聞を読んでいる(3年以上)	肯定的評価90%	肯定的評価25.6%	D		
読書が好き		肯定的評価90%	肯定的評価71.4%	C			
自分も他者も旭も大好きで、しなやかな心を持った子どもを育てる学校づくり	旭の自然・産業・施設・人材・歴史を活用した総合的な学習の時間・生活科の創造	旭のいいところや自慢できるところを知っている	肯定的評価70%	肯定的評価54.5%	C	児童はボランティアが自分たちの学びに貢献していることを感謝し、感謝の念を抱いている。旭の魅力に気づいている児童は半数程度に留まっている。旭の産業・福祉を総合学習で行った3年以上でも同程度である。学習の深化と教師による一層の価値付けが必要である。	
		ボランティアさんや地域の人に教えてもらったたり、助けてもらったりしてよかったと思う	肯定的評価90%	肯定的評価92.2%	S		
	TPOに応じた「あいさつ・返事」「言葉遣い」	笑顔であいさつしている	肯定的評価80%	肯定的評価62.3%	C	児童は挨拶をしていると自己評価しているが、実態としては、十分ではない。目は見ているが、ちらりと見る程度で、しっかりと目を合わせられない児童も多い。はっきりと声を出すことも含め、教師が率先垂範したい。	
		相手の目を見てあいさつしている	肯定的評価80%	肯定的評価85.7%	S		
		名前を呼ばれたら、はっきりと返事している	肯定的評価80%	肯定的評価85.7%	S		
		改まった場では、丁寧な言葉遣いをしていく	肯定的評価80%	肯定的評価84.4%	S		
	自己肯定感、自己有用感の高揚	自分にはよいところがある	肯定的評価90%	肯定的評価84.4%	A	自分のよさを認めつつも、それを他者から認められているという自信や、自分が他者や社会に貢献しているという意識が低い。事実に対応して感謝の言葉がけや、していることの価値付けを行うとともに、集団にも示し、価値を共有していきたい。	
		自分は人の役にたつ人だと思う	肯定的評価90%	肯定的評価62.3%	C		
	互いの違いを認め、思いを出して納得と合意をつくる活動	授業や学級会などでは自分の考えを言う	肯定的評価80%	肯定的評価61.0%	D	受容的ではあるが、自分の考えを出すことができない。したがって、互いの考えや意見を尊重した討論や合意形成とは言いがたい。自己肯定感・有用感の不十分さと関連がある。多様性、誤差、少数意見を尊重する話し合い活動を充実したい。	
		自分と違う考えも聞き入れながら、ものごとを決めている	肯定的評価80%	肯定的評価80.5%	S		
健康で意欲的に活動する子どもを育てる学校づくり	自ら健康課題をつかみ、望ましい生活や暮らし方をつくるための保健指導・食育	保健だよりなどを読んで、生活の仕方を良くしようとしている	肯定的評価80%	肯定的評価57.1%	C	給食は、苦手な物でも残さず食べる子がほとんどである。望ましい成長・健康、生活習慣づくりに向けた実践は十分ではない。知識・理解の不十分さによる必要感の欠如と取組へのマンネリズムがある。保健だよりを活用した計画的指導と生活実践、PTA活動としての取組など保護者への啓発活動と協働実践を行いたい。	
		嫌いなものでも食べている	肯定的評価90%	肯定的評価90.9%	S		
	メディアコントロール力の向上・生活習慣の改善	平日のテレビ、ゲームは1時間以内になっている	肯定的評価80%	肯定的評価63.3%	C	テレビ・ゲームに費やす時間が長い。アウトメディアの取組も改善を行ったが、このときだけの取組で日常にまで波及していない児童が多い。生活習慣・家庭学習習慣作りの核になる。家庭への啓発を一層図り、PTAの取組の重点にするなど、家庭と協働した取組を強化したい。	
		背筋を伸ばして、書いたり食べたりしている	肯定的評価90%	肯定的評価62.3%	D		
	群れて遊ぶことの日常化、運動習慣づくり	業間や昼休みに体を動かして遊んでいる	体を動かして遊んでいる児童は多いが、屋外でしっかりと遊んでいる児童は、数値ほど多くはない。運動量の確保できている児童と不足している児童の二極化がある。	肯定的評価90%	肯定的評価81.8%	A	トレーニングや「強制的」に遊ばせるのではなく、自由に遊べる時間を確保し、多様な遊び、友だちと群れて遊ぶ楽しさを味わうように支援したい。スクールバスや短距離の徒歩通学からも、授業に入るまでの体と頭の目覚めを促す朝の運動量確保が望まれる。
			トレーニングや「強制的」に遊ばせるのではなく、自由に遊べる時間を確保し、多様な遊び、友だちと群れて遊ぶ楽しさを味わうように支援したい。スクールバスや短距離の徒歩通学からも、授業に入るまでの体と頭の目覚めを促す朝の運動量確保が望まれる。	肯定的評価90%	肯定的評価81.8%	A	

<p>学校関係者総合所見</p> <p>○新聞・国語辞典の取組を充実し、語彙を豊かにし、文章力を高めることで、自分の考えを持ち、述べることをできるようにしたい。</p> <p>○アウトメディア、家庭学習習慣を含め、基本的な生活習慣づくりについて、家庭への啓発活動を継続し、家庭と連携した指導を一層進めたい。</p>	<p>学校関係者評価を受けての対応</p> <p>○「自己尊重感(アサーション: Assertion)」 「自己有用感に裏付けられた自尊感情」の高揚に努める。旭のよさ・可能性も含め、自己・生活事象に対して「ありがたし」「おかげさま」の価値を伝える。</p> <p>○基本的な生活習慣と家庭学習習慣の確かな定着を目指し、家庭と協働した取組を充実する。「メディアコントロール」「早寝・早起き・朝ご飯」「姿勢」の取組を継続する。</p> <p>朝の遊び・朝学習による「体と脳の目覚め」の活動、および、運動量、食欲を確保する。</p> <p>○思考力・表現力の向上の指導を継続する。</p> <p>語彙、文章表現、イメージ、論理、対話を重視した学習活動を行う。</p>
--	---